

ザ・特定行為実践

第13号
2024年3月 作成
特定行為研修室 発行
森永:PHS3126

小林 亜紀子：所属部署 感染管理室



修了した特定行為

研修：2023年3月修了

栄養に係るカテーテル管理
(末梢留置型中心静脈注射
用カテーテル管理) 関連

・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの
挿入

栄養及び水分管理に係る
薬剤投与関連

・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の
調整
・脱水症に対する輸液による補正

感染に係る薬剤投与関連

・感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的
投与

2022年秋コースを受講し特定行為を実践してから1年が経過しました。

現在、主に実践している特定行為は『末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理 (PICC)』と『感染に係る薬剤投与』です。

特定行為は侵襲的かつリスクが伴うため、研修終了後でも実践には非常に強い不安がありました。指導医や先輩実践者の指導とサポートがあり実践症例を重ねることができました。

特定行為は看護師が実践する医行為です。看護師が実践することで不安や苦痛軽減などの患者ニーズにより細かく応えることができると考えています。

不安軽減のためのオリエンテーション実施や苦痛軽減のための“実施時間の短縮” “体位や体位保持用品などの検討や導入”も実践者間で意見を出し合って実践しています。

今後も患者にとってより安全で安楽な特定行為を実践するために自己研鑽を重ねていきたいと思います。



体圧分散低反発クッションの検討



確実かつ短時間での実施を
目的とし2人で実践することも…



事前エコーやオリエンテーションでコミュニケーションをとり患者の不安を軽減

当院での取り組みを森永&戸塚&小林で学会発表してきました。

特定行為を既に実践している施設や今後、導入を検討している施設の方々から多くの質問をいただきました。当院は特定行為実践が病院的協力や職員の理解のもと非常に活発に活動できていると実感した学会でした。

基本的に、**所属部署の業務フィールド内・通常勤務時間**に特定行為研修で学んだことを活用し、特定行為実践に取り組んでいます。今後ともご支援宜しくお願ひ致します。

特定行為研修修了看護師について、何かご質問等がありましたら、森永までご連絡ください。